

守 山 市 歴 史 年 表

年 号	西 暦	記 事
約 6000 年前		赤野井湾湖底遺跡が誕生。集石炉や耳飾りが発見される。
約 5000 年前		石田三宅遺跡でムラができる。
約 4000 年前		古高町下長遺跡で竪穴住居から成る集落が形成される。(石囲い炉)
約 3500 年前		古高町古高遺跡でムラが形成される。 川中遺跡でムラができる。
約 3000 年前		守山町地先で竪穴住居から成る集落が形成される。(吉身西遺跡)
約 2600 年前		岡町、横江町で小さなムラができる。
約 2400 年前		服部遺跡で稲作が行われる。
約 2200 年前		矢島町寺中遺跡、三宅町中島遺跡でムラが造られる。
約 2100 年前		下之郷遺跡で巨大環濠集落が形成され、銅剣が使われる。 播磨田町酒寺遺跡、八ノ坪遺跡、守山町吉身西遺跡で 2 列の方形周溝墓がつくられる。播磨田東遺跡で弥生のムラができる。
約 2050 年前		二ノ畦・横枕遺跡でも巨大環濠集落がつくられる。
約 1900 年前		播磨田町酒寺遺跡で環溝集落が形成される。
約 1800 年前		伊勢町伊勢遺跡で大型建物(高殿、祭殿)が造られクニの中心部。 中町の中北遺跡で水田が造られる。
約 1750 年前		播磨田東、塚之越、横江、益須寺遺跡で前方後方型溝墓ができる。 古高町の下長遺跡で豪族の館が造られる。準構造舟も使われる。 琴や儀仗が使われ、最後の祭殿が造られる。
約 1600 年前		播磨田町八ノ坪遺跡の衣笠。
約 1550 年前		阿比留遺跡で朝鮮半島系の焼き物が使われる。 播磨田東遺跡で滑石などを使った玉生産が行われる。 金森町庭塚古墳が造られる。(前方後円墳) 浮気町で松塚古墳造られ、人物埴輪が使われた。 服部遺跡で大和琴が作られた。
約 1500 年前		古高町松塚古墳が造られる。 古高町狐塚古墳、幸田塚古墳が造られる。
約 1450 年前		勝部町の吉身北遺跡で巨大な集落が形成される。 滑石などを使った玉生産が行われる。 岡町寺山古墳群が作られる。 吉身北遺跡内で古墳が作られる。
	535	葦浦の屯倉(みやけ)の記事(安閑天皇)。日本書紀から。
	538	仏教公伝。
	667	天智天皇大津京に遷都。
天武 元年	672	壬申の乱 安河浜の戦いで近江朝軍大敗する。
持統 7 年	693	近江野洲郡に醴泉の記録。翌年持統天皇遣いを出し、翌年野洲郡の民の税を免ず。 『日本書紀』に益須寺があった記録。
和銅 3 年	710	奈良の平城京に遷都。守山市は野洲郡に属す。 服部郷、明見郷、敷智郷など。
天平 19 年	747	『大安寺伽藍縁起並流記資材帳』に野洲郡に壘田の記録。 大光寺の誕生釈迦仏立像が造られる。このころ三宅蓮生寺の称賛浄土仏撰受経成る。 法隆寺壘田の記録。(近江国栗太郡物部郷)『法隆寺伽藍縁起並流記資材帳』。
仁寿 元年	851	勝部神社が神階を受ける。(『文徳天皇実録』から)
貞観 11 年	869	新川神社が正五位下を授かる。(『三代実録』から)
延喜 5 年	905	「紀 貫之」 もりやまを詠む。 しらつゆも しぐれもいたく もるやまは…

年 号	西暦	記 事
延喜 5年	905	このころ式内社を定める。 野洲郡 8社 9座 守山市では小津神社 新川神社 馬路石邊神社 己爾乃神社 2座
天曆 5年	951	『後撰和歌集』に守山が詠まれる。 あしひきの 山のやまもり もるやまも…
長保 3年	1001	近江国符案に中津神崎莊園が野洲南郡にあった記事。 『東山御文庫記録』
長元 2年	1029	矢島聖観音菩薩彫刻が始まり（胎内銘）長曆 3年完成する。 このころ、東門院、東福寺の仏像が造られる。
承暦 3年	1079	『某荘立券文案』に小浜？の記録。（中津神崎荘） このころ金森遺跡の井戸が造られる。
平治 元年	1159	源 頼朝 守山で襲われる。源内兵衛真弘が逆に首を捕られる。
元暦 元年	1184	吉水郷が『近江国注進風土記』に記載される。
建保 元年	1213	野洲新庄の記事。『華頂要略』
	1220頃	東海道宿駅に近江森山宿が見られる。『平治物語』
	1262	守山宿の名が見える。『関東往還記』
永仁 7年	1299	笠原蜷江神社の鰐口が造られる。『鰐口銘文』
建武 元年	1334	吉身莊園が玄観御房に譲られる。
応永 4年	1397	足利義満、欲賀郷の地を本間氏にあてがう。（本間文書）
〃 5年	1398	川田、小島、北村の「川やな」の記事。（三上神社文書）
〃 6年	1399	勝部神社造営、明応 6年補修
〃 13年	1406	近江妙蓮、足利義満に献上される。（江源日記）
〃 29年	1422	下新川神社社殿造営（下新川神社棟木）
嘉吉 2年	1442	大曲の己爾乃神社の経筒が造られる（経筒銘文）
文安 元年	1444	富田莊園新宮社の大般若経が寄進される。（立田円福寺） この頃、西隆寺経塚が造られる。
長祿 3年	1459	白川寺寺領として近江野洲郡明見庄屋の記事がある。 このころ野洲郡が南、北の二郡に分かれる。 蓮如、播磨田門徒に十字名号を下符。
〃 4年	1460	蓮如、金森、山賀、荒見道場に方便方身尊像を下符。
応仁 2年	1468	六角高頼と佐々木政堯、守山で戦う。
文明 9年	1478	蓮如、赤野井道場に親鸞影像を下符。
長享 元年	1487	野洲川の戦いで細川政元、高頼の軍を討つ。
明応 元年	1492	將軍足利義植、守山で一泊。『蔭涼軒日録』
大永 4年	1524	本像寺題目塔造られる。（大永四年十月廿九日 銘文）
〃 6年	1526	小津神社造営の記録。
天文 3年	1534	少林寺桐嶽紹鳳没する。（少林寺鐘銘）
〃 13年	1544	野洲川大決壊。
永祿 8年	1565	足利義昭、矢島に御所を造る。
元龜 元年	1570	立入宗継 勅使として信長を迎える。『道家祖看記』
〃 3年	1572	金森が信長に攻められ、落城。信長が朱印状を与える。
文祿 3年	1594	勝部神社御寶殿造営。
元和 元年	1615	三宅蓮生寺本堂再建。
寛永 2年	1625	千代村が旗本渡辺茂の知行所となる。
寛永 19年	1642	守山宿に制札 このころ一里塚。
明暦 元年	1655	守山宿に朝鮮通信使宿泊。
天和 2年	1682	守山宿に朝鮮通信使の記録。
元祿 2年	1689	焰魔堂再興される。
正徳 元年	1711	守山宿に朝鮮通信使の記録。 宿場の高札ができる。東門院所蔵高札。
享保 15年	1730	守山宿に茶壺通過。
〃 17年	1732	享保の大飢饉。『蓮花立覚留日記』
延享 4年	1747	旱魃 30日間。『蓮花立覚留日記』

年 号	西 暦	記 事
宝暦 14 年	1764	守山宿に朝鮮通信使通過の記録。
寛永 11 年	1799	新庄から銅鐸 4 口発見。
享和 2 年	1802	野洲川大洪水。
〃 3 年	1803	大雨、川上より出水、田中大日堂が浸水。
文化 7 年	1809	赤野井別院再建。
〃 12 年	1815	野洲川氾濫、笠原決壊、各地に飢饉起る。
天保 3 年	1832	野洲川洪水、速野地区出水。
〃 13 年	1842	天保の義民。
萬延 2 年	1861	和宮様御下向、守山宿で泊。
明治 元年	1868	守山宿を廃して、守山駅とする。
〃 4 年	1871	廃藩置県、守山、大津県管轄となる。
〃 5 年	1872	守山郵便取扱所開設。
〃 6 年	1873	守山に初めて小学校できる。(第 16 小学校が東門院境内に)
〃 9 年	1876	守山警察署の前身、第 1 出張所第二屯所が設けられる。
〃 11 年	1878	明治天皇、北陸、東海巡幸、往復ともに守山小学校に御小休み。
〃 12 年	1879	守山村に郡役所を置く。
〃 18 年	1885	野洲川善岸堤決壊。守山に連合戸長役場設置。
〃 22 年	1889	守山に市町村制に基づく村制施行、守山、物部、玉津、小津、河西、速野、中洲の七村できる。
〃 23 年	1890	守山村消防組出来る。
〃 24 年	1891	野洲駅開設。
〃 26 年	1893	速野村庁舎完成。
〃 28 年	1895	河西尋常高等小学校校舎造営式。
〃 29 年	1896	野洲川左岸野洲町善岸堤防 100 間決壊。立入堤防決壊、被害は玉津、河西、速野各村に及ぶ、現守山市地域の 70% 浸水、死者 12 名。
〃 30 年	1897	私立鶴飼文庫設立。
〃 31 年	1898	野洲郡役所を野洲村に設置。(大正 15 年まで)
〃 33 年	1900	守山郵便局で電信業務開始。
〃 34 年	1901	物部尋常高等小学校新築落成式挙行。
〃 37 年	1904	野洲郡守山村が守山町となる。
〃 43 年	1910	守山郵便局で電話業務開始。
〃 44 年	1911	小津村立記念図書館設立。
〃 45 年	1912	国鉄守山駅、営業開始。
大正 2 年	1913	笠原堤防、沈潰、溺死者 32 名。
〃 4 年	1915	玉津村立記念図書館設立。河西村立記念図書館設立。河西村庁舎完成。
〃 7 年	1918	野洲川出水。
〃 9 年	1920	中洲実業補習学校開校式。第一回国勢調査。
〃 11 年	1922	JRC (日本青少年赤十字) 発祥の地。(守山小学校)
〃 13 年	1924	「守山源氏蛭」天然記念物としての国の指定を受ける。
昭和 4 年	1929	赤野井郵便局、幸津川郵便局で電話交換業務開始。
〃 5 年	1930	木浜郵便局で電話交換業務開始。
〃 9 年	1934	室戸台風、野洲川鉄橋上で貨物列車転覆、野洲郡の死者 4 名、全壊 120 戸。
〃 15 年	1940	速野村、玉津村等に国民健康保険組合創設。
〃 16 年	1941	野洲郡守山町、栗太郡物部村を廃止して、野洲郡守山町が置かれる。
〃 22 年	1947	守山町警防団、守山町消防団となる。
〃 27 年	1952	町立守山保育園を町立裁縫女学校内に併設し開園。 笠原、今浜堤防決壊。 守山町中小工業融資規定できる。
〃 28 年	1953	台風 13 号襲来、野洲川決壊、(今浜、洲本) 死者 6 名。
〃 29 年	1954	ごみ収集事業一部地域で実施。 野洲川漏水対策期成同盟会が結成される。

年 号	西 暦	記 事
〃 30 年	1955	守山町、小津、玉津、河西、速野村の一町四村合併し、守山町成る。 (新役場は、従来の守山町役場、今宿) 町広報創刊。 国民健康保険事業開始。
〃 31 年	1956	小津、玉津、河西、速野各保育園を幼稚園に切り替え開園。 守山町社会福祉協議会設置。 東海道本線京都、米原間電化。 玉津、小津、河西支所廃止。
〃 32 年	1957	中洲村の内、新庄、服部、立田、幸津川、小浜の大字の区域を守山町に編入合併。 町章制定。小浜地区簡易水道給水開始。
〃 33 年	1958	吉身、勝部小学校を統合し、守山小学校と称す。 野洲川直轄調査開始。 赤野井字川端地区簡易水道給水を開始。
〃 34 年	1959	守山町立守山高等裁縫女学校を廃し、守山町立守山女子高等学校を設立。 荒見、布施野地区および水保、立田、洲本地区給水開始。 水保、立田、洲本地区簡易水道事業の給水開始。
〃 35 年	1960	守山町有線放送農業協同組合設置。 野洲川改修促進期成同盟会の設立。 河西、速野、中洲地区給水開始。 野洲川改修促進期成同盟会の設立。
〃 36 年	1961	天然記念物守山源氏蛭指定解除となる。 守山町役場、吉身の守山小学校跡に移る。 小津、玉津、河西三出張所を廃止。 守山町ごみ焼却場を建設。
〃 37 年	1962	守山町観光協会設立。 湖南、三和、明富の3中学校を統合して守山中学校を開校。 守山町学校給食協会発足。 小津、玉津地区広域簡易水道事業給水開始。
〃 38 年	1963	湖南衛生プラント組合結成。(一市五町) 中洲地区貫通反対期成同盟会設立。
〃 39 年	1964	守山町、中主町、野洲町で野洲郡開発事業団設立。 守山町有線放送電話、守山町全域に通話開始。 琵琶湖大橋完成、開通式挙行。
〃 40 年	1965	守山町中央公民館(三階建)完成。 「大日堂の妙連およびその池」天然記念物としての県の指定を受ける。
昭和 40 年	1965	守山総合ビル(庁舎)完成。 合併十周年記念式典挙行。 台風 24 号襲来、野洲川決壊(新田、中島地区孤立)死者 1 名。 野洲川一級河川に指定とともに、直轄による改修事業に着手。 野洲川改修促進協議会発足。 守山地区上水道事業の一部給水開始。(立入、岡、浮気)町章制定(現在市章) 町の歌募集決定。(現在の市歌)制定。
〃 41 年	1966	守山中学校全校舎総合落成、同時に体育館も完成。 木浜地先の埋立地守山町に編入。 (面積 43.82 平方キロメートルとなる。) 社会福祉法人守山町社会福祉協議会設立。 守山町立守山母子健康センター開設。 農協合併。(守山、小津、玉津、速野、中洲)
〃 42 年	1967	守山警察署、新築。 木浜に滋賀県運転免許センター完成。 守山地区上水道布設事業完了。

年 号	西 暦	記 事
〃 43 年	1968	守山町消防本部及び消防署の設置。 河西農協、守山農協と合併。 新市制実現に関する要望を町議会において決議される。 守山町文化財保護条例制定。 守山農免道路完成。
〃 44 年	1969	守山消防署発足。 野洲川新放水路用地測量調査開始。 公民館活動の一環として各種の講座開設。 第一回七夕まつり開催。 ごみ収集事業全域に拡大。
〃 45 年	1970	湖南一市四町による広域消防、湖南消防組合発足。 守山市発足、市役所開所式。 自治会名改正。 福祉事務所を設置。 市街化区域、市街化調整区域を定める。 大津湖南都市計画区域における区域区分（線引き）決まる。 守山音頭発表。 総合ビル別館完成。 野洲郡開発事業団から湖南開発事業団に名称変更。 交通安全対策本部、交通安全対策会議、交通安全対策協議会発足。 守山市公害対策本部発足。 吉身保育園完成。 県立成人病センター完成。
〃 46 年	1971	北川俊一氏無投票で初代市長として再選。 市立北公民館完成。 市役所速野支所併設。 宮田埋立地でごみの埋立処分を開始。 ごみ収集の無料化実現。 国鉄守山駅開業 60 周年。 野洲川総合事務所開設。 守山市「総合発展計画」策定成る。 野洲川改修工事起工式。
昭和 47 年	1972	財団法人守山市土地開発公社設立。 琵琶湖湖南中部流域下水道の内湖南地域の計画決定。 野洲川改修工事で川辺地区のうち 24 世帯移転。 守山市上水道第二次拡張事業の洲本水源地新設工事竣工。 守山市上水道第二次拡張事業の立入水源地増設工事竣工。 県立滋賀整肢園開設。
〃 48 年	1973	大津湖南都市計画公園事業、守山市民運動公園事業認可を受ける。 守山南部開発特別委員会を設置。 守山駅舎完成。 玉津保育園完成。 第 1 なぎさ公園完成。 市役所駅前連絡所業務開始。 第 1 回市民のつどい開催。 守山小学校から吉身小学校を分離することを決定。 守山市、野洲郡少年センター開設。 総合ビル庁舎増築工事竣工。
〃 49 年	1974	農村施設等総合整備事業第 1 号中野地区ガラス温室完成。 大津湖南都市計画下水道事業、守山市公共下水道事業認可を受ける。 第 1 回市民歩こう会 吉身小学校校舎完成。 大津湖南都市計画下水道事業、守山市公共下水道事業計画決定。 公共下水道事業着手。

年 号	西 暦	記 事
〃 49 年	1974	守山市史発刊。 守山市土地開発公社に組織がえ。 都市計画道路（片岡～栗東線）事業実施。 服部遺跡試掘調査始まる。
〃 50 年	1975	守山駅東口開発計画なる。 米国ハワイ州カウアイ郡と姉妹都市提携締結。 二代目市長、高田信昭氏就任。 両陛下、県立整肢園を御視察。 守山中学校再編成審議会発足。 守山市の木に「クスノキ」、市の花に「妙蓮」が決定。 第一回スポーツカーニバル開催。
〃 51 年	1976	農業者トレーニングセンター完成。 守山中学校生徒増対策審議会発足。 守山市同和教育研究大会を開催。 浮気保育園完成。 小津会館完成。 玉津会館（老人憩いの家）完成。 中洲会館（野洲川改修記念館）完成。 地区会館業務開始。 第2なぎさ公園完成。 ハワイ州カウアイ郡初の親善使節。
〃 52 年	1977	第一回施設見学会開催。 小津幼稚園、保育園完成。 守山会館完成。 県立総合保健専門学校開校。 国体、高校総体守山市準備委員会発足。 守山市民体育館完成。 河西ニュータウン第一次分譲を開始。 守山南部都市排水事業。小津学区対策協議会が発足。
〃 53 年	1978	吉身会館完成。 市立図書館完成。 守山北中学校開校。 守山市野洲郡休日急病診療所開設。 速野会館完成。速野支所移転。 印鑑登録カード化実施。
〃 54 年	1979	高田市長無投票で再選。 古高保育園完成。 びわこ国体市民運動実践協議会結成大会開催。 ハワイ州カウアイ郡へ初の公式訪問 野洲川放水路暫定通水式。 守山市合成洗剤対策連絡協議会結成。 54 全国高校総体バレーボール競技開幕。 近江守山郵便局新庁舎完成。
〃 55 年	1980	河西会館新築移転。 宮崎県都城市から来年会場の守山へ国体旗が到着。 守山南部都市排水事業（中小河川、守山川改修）覚書地元小津学区対策協議会と調印。 中小河川、守山川改修事業測量開始。 '80 守山産業フェア開催。 有形民俗資料館公開。守山市制 10 周年記念式典。市制のあゆみ刊行。守山市民憲章の制定。 地域総合センター開設。 市立埋蔵文化財センター完成。 守山市民球場完成。

年 号	西 暦	記 事
〃 56年	1981	守山漁村センター竣工。 第1回びわこ現代彫刻展。 守山市障害者福祉教育センター業務開始。 新住居表示制度実施。(梅田町) 第36回国民体育大会開催。(守山市はバレーボール、ソフトボール会場に)
〃 57年	1982	木浜漁港竣工。 地域総合センター竣工。 守山市民病院開設。 守山女子高校商業科を設置。 新穀献納祭(米、粟)が行われる。 人工飼育による「ゲンジボタル」の羽化に成功。(鳩の森公園) ごみ指定紙袋制スタート。第1回野洲川冒険大会いかだくたり。
〃 58年	1983	高田市長、無投票で三選。 農村多目的広場オープン。 小津警察官駐在所、開所。 緑のもりやまを創る会が環境庁長官表彰受ける。 市の人口、5万人超す。 県立守山北高等学校開校。 サンライフ守山落成。
〃 59年	1984	第3次守山市総合発展計画基本構想、策定成る。 河西警察官派出所開所。 第1回野洲川健康ファミリーマラソン大会が行われる。 守山南中学校開校。 時計塔「ふれあいの塔」建立。 交通安全都市を宣言。
〃 60年	1985	守山市環境センター操業開始。 中洲花き温室団地完成。 市民運動公園内に「交通園」完成。 県下初の釣り桟橋オープン。 第1回行政改革推進懇談会開催。 市制施行15周年、町村合併30周年、記念式典挙行。 市農村環境改善センター竣工。
〃 61年	1986	(財)守山市文化体育振興事業団設立。 守山商工会議所設立。 市環境センター粗大ゴミ処理施設稼動。 特別養護老人ホーム「ゆいの里」開設。 セルバ守山3階に守山駅前コミュニティホールがオープン。 市民プール完成。 市教委が中国湖南省に教員(4名)を研修派遣。 守山駅前連絡地下道が完成。 守山市民ホール(市民文化会館・中央公民館)開設。 住民情報システムオンライン稼動。 東門院本堂火災で、重文「十一面観音立像・毘沙門天立像」などが焼失。
〃 62年	1987	高田市長、無投票で四選。 守山市シルバー人材センター発足。 コミュニティロード「ほたる通り」開通。 営業ごみ収集の許可業者制スタート。 農業技術拠点施設竣工。
〃 63年	1988	守山市、近江八幡市、中主町で「琵琶湖湖南・中部地区リゾート整備推進協議会」を設立。 吉身町で新住居表示実施(吉身一丁目～六丁目)。 野洲川廃川敷地等を取得。 県立小児保健医療センター完成。 野洲川整備公社設立。

年 号	西 暦	記 事
〃 63 年	1988	守山市野洲郡勤労者互助会設立総会開催。 野洲川放水路記念広場オープン。 今浜婦人消防隊が全国婦人消防操法大会に出場。 「のどかな田園都市守山平和都市宣言」が議会で決議される。
〃 64 年 (1 月)	1989	吉身町で新住居表示実施 (吉身七丁目)
平成 元年	1989	廃プラスチック類溶融固化施設竣工 たちばな川・案内川修景工事竣工。 市立図書館増築。 米国ミシガン州エイドリアン市と姉妹都市提携。 市立守山女子高等学校創立 30 周年記念式典挙行。 市緑の少年団誕生。
〃 2 年	1990	物部小学校、守山小学校から分離開校。 物部幼稚園、守山幼稚園から分離開園。 ほたるの森資料館完成。 ほたる観賞の夕べ開催。 野洲川廃川敷地の骨材採取平地化事業に着工。 市制 20 周年記念式典挙行。 宗さんといっしょに走ろう大会。 ねんりんピック'90 ソフトボール交流大会開催。 フェスタ in 野洲川開催。 野洲川地区農地開発事業起工式。
〃 3 年	1991	高田市長五選。 明富中学校、守山北中学校から分離開校。 守山保育園竣工。 守山市国際親善協会発足。 ほたるの森資料館来館者 1 万人突破。 中山道宿場会議守山市で開催。 韓国公州 (コンジュ) 市と姉妹都市提携。
〃 4 年	1992	湖岸道路が開通。(木浜町ー大津大萱 14.7km) 野洲川ふれあい広場オープン 市の人口 6 万人を越す。 守山幼稚園竣工。 伊勢遺跡から全国最大規模の高床式建物跡が出土。(弥生時代後期)
〃 5 年	1993	第 1 回環境美化推進バスを運行。 守山市福祉保健センター (すこやかセンター) オープン。 幼稚園の二年制開始。 立入が丘小学校、吉身小学校から分離開校。 国道 477 号が市内を通過。 酒寺遺跡から日本最古級の石杵出土。 二ノ畦・横枕遺跡から最大級の環濠集落発掘。 (守山市・野洲町の境界に広がる)
〃 6 年	1994	第 100 回記念市民歩こう会。 調和と均衡のとれた男女共同参画型社会の実現をめざす守山市計画策定。 「もりやま・芦刈園」開園。 八ノ坪遺跡から衣笠の立ち飾り出土。 琵琶湖大橋 4 車線化開通。 ほたるの森資料館来館者 3 万人突破 (8 月)。 琵琶湖の水位マイナス 123 センチメートルを記録。 琵琶湖岸埋め立て地の果樹園でナシ・ブドウ実をつける。 今浜町で温泉がでる。
〃 7 年	1995	小津神社長刀まつり保存館完成。 野洲川暫定通水 15 周年記念碑建立 (野洲川改修促進協議会) 三代目市長、甲斐道清氏就任。 守山市民吹奏楽団誕生。

年 号	西暦	記 事
〃 7年	1995	守山駅西口エスカレーター竣工式 もりやまフルーツランドオープン。湖岸の果樹園でナシとブドウの直売始まる。 人権尊重都市を宣言。 守山パートサテライトオープン 宇野宗佑氏、森口華弘氏に名誉市民称号を授与。 北海道登別市など全国5市と災害時における相互応援協定締結。
〃 8年	1996	守山市誌自然編発刊。 第3次守山市総合発展計画後期基本計画策定。 守山町で新住居表示実施（守山一丁目～六丁目） 道路10路線愛称決定。 幸津川デイサービスセンターがオープン。 ゴミの減量化、資源化を目指し市内全小学校に生ゴミ処理器設置。 豊穰の郷赤野井湾流域協議会設立。 シルバーワークプラザオープン。
〃 9年	1997	災害時の飲料水確保に、市上下水道公認業者協同組合と復旧作業協定を締結。 守山市誌教育編発刊。 「市放置自転車等の防止に関する条例」施行。 全市域でのペットボトル分別回収開始。 近江妙連公園オープン。 市石油協同組合と「災害緊急車指定給油所に関する協定」を締結。 市民運動公園内に平和モニュメント設置。 古高町の下長遺跡から、翳（さしば）状木製品と傾斜独立棟持ち柱付建物跡が出土。
〃 10年	1998	下之郷遺跡から弥生時代の9重の環濠（かんごう）を確認。（弥生時代中期） 守山警察署が金森町に移転。 守山市民病院の新病院が開院。 佐川美術館オープン。 はたるの森資料館 来館者5万人突破（3月）。 守山駅東口エスカレーターと市営駅前東口自転車駐車が供用開始。 湖南広域行政組合発足。 市ボランティア観光ガイド協会発足。 守山名誉市民・元内閣総理大臣宇野宗佑氏が死去。 駅前地下道に壁画を設置。 びわ湖わんわん王国オープン。 佐川航空、市内郵便局、守山商工会議所建設部土木委員会と災害時の応援協定を締結。 駅前電線類地中化工事完了。 勝部町で新住居表示実施（勝部一丁目～六丁目） 今宿町で新住居表示実施（今宿一丁目～三丁目）
〃 11年	1999	甲斐市長、無投票で再選。 下之郷遺跡から、全国で初めて完全な形で弥生時代の戦闘を物語る木製の盾が出土。 第4次総合計画基本構想が議決される。 守山市民病院が院外処方に移行。 守山ふれあい公園に砂入り人工芝使用のテニスコート2面完成。 守山市民病院旧病棟が療養型病床群病棟としてリフレッシュオープン。 伊勢遺跡の高床式建物跡で祭祀と政治一体から、分離過程を示す発見。 駅前地下道に壁画28面完成。 守山市情報公開条例を制定。 市子育て支援総合計画「守山っ子ほほえみプラン」を策定。 中山道守山宿景観整備協議会発足。 庁内グループウェア稼働。

年 号	西 暦	記 事
〃 11 年	1999	守山市ほたる条例制定。 守山中学校に市の施設初の柔剣道場が体育館とともに新築なる。
〃 12 年	2000	中山道守山宿景観整備協議会が中山道守山宿まちづくり基本構想をまとめる。 市ほたる条例と市情報公開条例が施行なる。 介護保険制度開始。 平安女学院大学で初の入学式。 市公文書館開館。 第 33 回全国ホテル研究大会開催。 市制施行 30 周年記念式典挙行。 第 4 次市総合計画「もりやまレインボープラン 2010」策定なる。 NHK のど自慢開催。 元気がやぐ守山市のつどい「うねりフェスタ 2000」開催。 下之郷遺跡で新たな環濠発見。国内第 3 の規模に。 市長への手紙をインターネットで受付。 守山っ子うねりフェスタ開催。 野洲川立入河川公園に芝生広場とクレール広場完成。 シドニー五輪マラソン金メダリスト高橋尚子さんを迎え、第 31 回ほたるのまち守山ハーフマラソン開催。
〃 13 年	2001	3 市 2 町の「湖南地域広域行政推進懇談会」設置。 すこやか通りバリアフリートイレ（吉身三丁目）完成。 守山女子高校被服科・商業科最後の卒業式。 守山市誌地理編を発刊。 守山市民病院全土曜日を開院、診療実施。 トレイ類の分別回収開始。 びわこ地球市民の森がオープン。 市内郵便局と市が、道路の破損や不法投棄などの情報提供「市民生活にかかる情報提供に関する協定書」に調印。 公民館や小中学校などで「IT 講習」スタート。 「安全で安心なまちづくり条例」が施行。 手作りの祭り「守山夏まつり・フェスタ MYOREN」開催。 下之郷遺跡「外環濠の溝」西端に発見、規模 25 ヘクタールに拡大現地説明会。 市のホームページを一新。 合併問題検討特別委員会を市議会に設置。 第 9 回世界湖沼会議守山セッション。 『友好交流都市協定』を北海道登別市など全国 5 市と締結。 市民ホール開館 15 周年記念フェスティバル「和・環・輪」。 伊勢遺跡で国内最大級の弥生時代後期大型建物跡を発見現地説明会。
〃 14 年	2002	個人情報保護懇話会が提言書を市に提出。 下之郷遺跡が国指定史跡に。 立入水源地四塩化炭素検出問題にかかる健康問題住民説明会。 守山市交通バリアフリー基本構想策定。 野洲川斎苑利用開始。 石田デイサービスセンター利用開始。 学校完全週 5 日制がスタート。 県下初の大型児童センター「ほほえみセンター」がオープン。 守山市駅前総合案内所オープン。 びわこ地球市民の森のつどいで 1,600 本を植樹。 中山道 400 年祭記念仮装飛脚リレー大会。 戸籍情報コンピュータシステムが稼働開始。 環境学習の拠点「みさき自然公園」がオープン。 家庭系ごみ袋が透明化に。 市民手作りの夏祭り「フェスタ MYOREN 2002」。 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート。

年 号	西 暦	記 事
〃 14 年	2002	<p>幸津川町下新川神社の「宗源宣旨」など3点を市文化財に指定。 ライズヴィル都賀山竣工式。 姉妹都市ハワイ州カウアイ郡よりクサカ市長が来市。 三津川公衆トイレ完成。(守山三丁目) 市ホームページに携帯電話版ホームページを開設。 ららぽーと守山に市民サービスセンターがオープン。 播磨田東遺跡から金製空玉・ガラス小玉が出土。(古墳時代後期) 飲料用紙パックや廃蛍光管も回収開始。</p>
〃 15 年	2003	<p>四代目市長、山田亘宏氏就任。 守山駅前東口公衆便所完成。(勝部町) 守山市誌資料編歴史年表を発刊。 速野幼稚園新園舎完成。 市内路線バスにノンステップバスが導入。 市コミュニティ防災センターと北消防署の新庁舎完成。 世界水フォーラム in 守山開催。 駅東口広場「にぎわいの広場」エレベーター完成。 個人情報保護制度実施。 守山市誌地理編資料古絵図を発刊。 湖南開発事業団解散。 中山道守山宿に「町屋ふれあい館筆忠」オープン。 立入水源地整備工事完成。 野洲川川田河川公園がオープン。 市民参画制度「市民100人委員会」「パブリックコメント手続」を創設。 守山夏まつり「フェスタMYOREN2003」。 姉妹都市韓国公州市より呉英姫市長が来市。 住民基本台帳ネットワークシステム2次サービス開始。 古高・経田遺跡からほぼ完全な形の琴が出土。 住民票の写しなどの自動交付サービス開始。</p>
〃 16 年	2004	<p>石田配水場建設工事に着手。 ISO14001の認証取得。 守山簡易保険総合レクセンターの建設計画中止の申し入れ。 欲賀遺跡で市内初の巫女形埴輪が出土。 河西幼稚園新園舎の開園式。 市の人口7万人を突破。 JR守山駅西口広場の再整備工事が完成。 平安女学院大学第1回卒業式。 安心ネットワークシステムの取組みスタート。 守山・速野・中洲の3地区会館が土日祝祭日も開館。 図書館の開館時間の延長。 乳幼児の福祉医療費の無料化。(自己負担金を市独自で助成) 小学校低学年に「35人学級制」を導入。 「広報もりやま」A4判に一新。 「市誌資料古文書目録第1集」を発刊。 もりやま障害者プラン2004を策定。 守山市情報化(IT推進)計画を策定。 小学校1年生の米飯用食器をお椀に改善。 市民交流センター「さんさん守山」が市民活動の拠点として始動。 地域通貨「もーりー」スタート。 守山ほたるパークアンドライドを実施。 耳マークカードを発行。 木造住宅の無料耐震診断を実施。 駅西口広場ロータリーの一般駐停車場の利用を開始。 サッカー場の早期建設を求め署名を市長に提出。 新たな市民参画制度「地域行政懇話会」を開催。</p>

年 号	西 暦	記 事
〃 16 年	2004	<p>市民らが駅前広場でガーデニング。 笠原町の蛸江神社から県内最古の天部形立像が発見。 守山市スポーツ振興計画策定。 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定。 病後児保育を実施。 平安女学院大学生らが統合反対署名を市長に提出。 「少年赤十字団発祥の地」顕彰碑を建立。 吉身・小津・玉津・河西地区会館リニューアル工事を開始。 ユニバーサルデザインのまちづくり実践マニュアルを作成。 福井豪雨の被災地へ災害ボランティア。 市職員による環境美化活動。 守山市文化協会創立30周年。 一般廃棄物最終処分場が完成・供用開始。 第1回環境フェア（もりやま環境フェア2004）の開催。 リユースセンターを開設。 野洲川改修事業完成記念式典・記念碑建立。 広報レポーター「もりやま特派員」スタート。 公用車「循環型社会推進車」貸出しを開始。 市長との新たな対話制度「おでかけ市長室」を開設。 びわこ横断エコバス運行を開始。 守山市次世代育成支援対策地域行動計画を策定。 健康もりやま21たばこ対策指針を策定。 台風・地震による被災地京都・新潟へ災害ボランティア。 下之郷遺跡から特殊な区画溝と建物跡を発見。 郷土アスリートとのつどいの開催。 ユニバーサルデザインスポーツ体験会の開催。 デジタルコンテンツ「守山の昔ばなし」（電子紙芝居）4話が完成。 木造天部形立像など5件6点を新たに市指定文化財に指定。</p>
〃 17 年	2005	<p>吉身・小津・玉津・河西会館も土日祝日開館。 びわこ地球市民の森ふれあいゾーンがオープン。 里道・水路などの法定外公共物が市の管理に。 世界の花火大会滋賀で台湾の花火3,000発打ち上げ。 県内初塚之越遺跡で縄文時代中期の有孔鏝付土器などが出土。 速野カナリヤ保育園が開園。 守山市誌考古編発刊。 ほたるの森資料館の来場者が10万人を突破。 石田配水場が完成。 カウアイ郡との姉妹都市提携30周年の記念植樹祭で、市長らが訪米。 「きめ細やかな指導の教育特区」の認定を受ける。 立命館とまちづくり協定を締結。 サイクル・エコフェア in もりやまの開催。 野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」がオープン。 守山みらい債を発行。 もりやま市民活動屋台村の開催。 焰魔堂遺跡から新たに墓3基見つかる。</p>
〃 18 年	2006	<p>守山市誌歴史編、生活・民俗編発刊。 指定管理者制度導入(13施設)。 守山女子高等学校を学校法人立命館に移管、立命館守山高等学校が開校。 小学校低学年30人程度学級開始。 市指定ごみ袋の店舗販売開始。 近江妙蓮「平成の献上」。 「パディバレーボールびわ湖カップ2006」開催。 野洲川歴史公園田園空間センター(田園空間博物館)開設。</p>

年 号	西 暦	記 事
〃 19 年	2007	<p>山田市長、2 期目再選。 立命館守山高校で第 1 回目の卒業式。 市民交流センター、駅前総合案内所、守山駅前コミュニティホール、もりやま芦刈園を指定管理者による管理に移行。 びわこみみの里竣工。 若鮎保育園新園舎完成。 下之郷遺跡から弥生時代のメロンの仲間が出土。 幸津川地藏堂の木造地藏菩薩坐像を市指定文化財に指定。 玉津小学校新校舎完成。 中洲幼稚園新園舎完成。 日本スポーツマスターズ 2007 びわこ大会。 佐川美術館楽吉左衛門館オープン。 琵琶湖境界の策定なる。(官報告示) 市民体育館リニューアルオープン。 第 2 回守山みらい債発行。 はすねだ保育園新園舎完成。</p>
〃 20 年	2008	<p>守山名誉市民森口華弘氏が死去。 近江中山道宿場会議守山大会が開催される。 野洲川斎苑葬祭棟が完成。 国内最古の和韓混淆鐘見つかる。 「おうみんち」竣工。 守山市景観計画・景観条例を制定。 災害救援型自動販売機の設置。 中山道街道文化交流館がオープン。 守山市誌特別編「守山城物語」発刊。 まちづくり会社「株式会社みらいもりやま 21」が発足。 第 21 回全国スポレク祭が開催される。 下之郷町で新住居表示実施。(下之郷一丁目～三丁目) 生涯学習・教育支援センターがオープン。</p>
〃 21 年	2009	<p>市民病院でオーダーリングシステムによる予約診断を開始。 玉津こども園の開園。 定額給付金もりもりクーポン券を発行。 ごみ袋の料金等の改正。 吉身東町慈眼寺の薬師三尊像(市文化財)が修復を終えて還座。</p>
〃 22 年	2010	<p>図書館リニューアルオープン。 市民参加と協働のまちづくり条例を制定。 路上喫煙の防止に関する条例を制定。 小津こども園開園。 水道サービスセンターを開設。 はすねだ保育園、速野カナリヤ保育園がこども園に移行。 守山市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)を策定。 放課後児童クラブ「カナリヤ第三クラブ」開設。 市制施行 40 周年記念式典挙行。 中山道守山宿にぎわい広場オープン。 下之郷史跡公園がオープン。</p>
〃 23 年	2011	<p>市民体育館多目的アリーナ竣工式。 5 代目市長、宮本和宏氏就任。 守山市消防団が最高栄誉「まとい」の受賞を報告。 東日本大震災を受けて職員の派遣や市民をあげた支援の輪が広がる。 第 5 次守山市総合計画『「わ」で輝かせよう ふるさと守山』がスタート。 近江兄弟社もりの風こども園開園。 ひなぎくこども園竣工式。 守山小学校・幼稚園新校(園)舎完成。 和歌山県田辺市へ職員を災害派遣。</p>

年 号	西 暦	記 事
〃 23 年	2011	えんまどう公園(焔魔堂公園)完成。 市政報告会の実施。
〃 24 年	2012	暴力団排除条例施行による守山警察署との暴力団排除に関する連携についての合意書合同調印。 伊勢遺跡が国の史跡指定を受ける。 歴史文化まちづくり館(守山宿・町家“うの家”)オープン。 国道8号線野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会の設立。 長野県飯田市、熊本県水俣市と災害時相互応援協定を締結。 こども園を含む幼稚園における3年制保育全園実施。 家庭的保育事業(保育ママ)2施設の開所。 地域包括ケアシステムスタート。 「ラ・フォル・ジュルネびわ湖 2012」守山プレイベント「ルシオール アートキッズフェスティバル」開催。 中学校スクールランチ制度の導入。 すこやかチャレンジ制度、いきがい活動ポイント制度の実施。 ハローイングリッシュプロジェクト事業をモデル校として小津、玉津、中洲の幼稚園・こども園と小学校で実施。 観光レンタサイクルがスタート。 被災地支援へ！岩手県大槌町へ職員派遣。 中心市街地活性化交流プラザ(あまが池プラザ)およびあまが池親水緑地オープン。 中心市街地交流駐車場オープン。 赤野井湾再生プロジェクト発足。 重症心身障害者通所施設「たいよう」の開設。 LED防犯灯緊急整備事業の実施。 市民文化芸術祭の開催。 安全で安心なまちづくりネットワークに関する協定締結。 放課後等デイサービス「もりじろう」の開設。 守山消防団サンレディース分団消防操法県大会優勝。 もりやま市民共同発電所推進協議会設立。 デマンドタクシー(もーりーカー)運行開始。 災害時要援護者登録制度がスタート。
〃 25 年	2013	セルバ守山地下にぎわい創出事業にかかる公募型プロポーザル方式により提案業者を募集。 守山中学校校舎改築基本設計・実施設計委託業務を委託する設計者を公募型コンペ方式により選定。 市民参加と協働のまちづくり推進会議から「新しいまちづくりの仕組み」に関する提言を受ける。 市民運動公園再整備基本構想(案)を踏まえて、市民運動公園のセントラルパーク化に向けた取組みへ。 もりやま市民ソーラー1号機(守山中学校)竣工。 24時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービス開始。 市民病院、経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行。 第78回近畿市議会議長会定期総会を開催。 JR守山駅ホーム上屋延長工事完成記念式典を実施。 もりやま食とまちづくりプロジェクト設立。 赤野井湾で生育域を拡大している外来水生植物オオバナミズキンバイを駆除。 守山まるごと活性化プラン検討委員会を開催。 市民対象の本会議傍聴研修の実施と送迎バス発車。 環境施設を更新するに当たり環境施設対策市民会議を設置。 滋賀県立大学と、地域活性化と人材育成を目的に協定を締結。 守山の都市ブランド化の取組をスタート。 医療・環境・健康産業フェアの開催。

年 号	西 暦	記 事
〃 25 年	2013	<p>守山市・野洲市と守山野洲医師会、草津栗東守山野洲歯科医師会、守山野洲薬剤師会が災害時の医療救援活動に関する協定を締結。</p> <p>第 21 回全国女性消防操法大会に守山消防団サンレディース分団が出場。</p> <p>市の人口 8 万人到達。</p> <p>勝部 4 号雨水幹線完成。</p> <p>岩手県大槌町ボランティアバスツアーを開催。</p> <p>浮気保育園園舎改築基本設計・実施設計委託業務を委託する設計者を公募型コンペ方式により選定。</p> <p>守山北中学校地震補強・大規模改修工事完成。</p>
〃 26 年	2014	<p>ラウンドアバウト社会実験開始。</p> <p>ブランドメッセージ・ロゴデザイン発表。</p> <p>セルバ守山の地下に「チカ守山」オープン。</p> <p>在宅医療・サポートセンタースタート。</p> <p>守山まるごと活性化プランを策定。</p> <p>ルシオール アート キッズ フェスティバル開催。</p> <p>市民球場リニューアルオープン。</p> <p>びわこ地球市民の森に大型遊具完成。</p> <p>野洲川改修の暫定通水から 35 年目を迎える。</p> <p>北川原公園オープン。</p> <p>交通死亡事故ゼロ 350 日達成。</p> <p>オオバナミズキンバイ駆除活動実施。</p> <p>吉身保育園分園がオープン。</p> <p>終バス 23 時本格運行。</p> <p>守山市・福生市・登別市の子どもスポーツ交流大会開催。</p> <p>ドリームベースボールの開催。(村田兆治氏、金田正一氏ら)</p> <p>電気自動車軽トラック貸出開始。</p> <p>琵琶湖大橋開通 50 周年記念イベント開催。</p> <p>もりやま健康フェスティバル開催。</p> <p>大庄屋諏訪屋敷まつり、伊勢遺跡まつり、下之郷遺跡まつりの開催。</p> <p>医療・健康・環境産業フェア開催。</p> <p>中洲幼稚園創立 50 周年記念式典の開催。</p>
〃 27 年	2015	<p>宮本市長、2 期目再選。</p> <p>北川家住宅土蔵が守山市初の国登録有形文化財に登録。</p> <p>河西ふれあい花壇開園(北川原公園)。</p> <p>立田町ラウンドアバウト完成</p> <p>みとつ公園オープン。</p> <p>もりやま循環型ふるさと“農”税スタート。</p> <p>守山市プレミアム付商品券発行。</p> <p>近江妙連市花制定 40 周年(河西学区まるごと活性化推進化委員会が記念切手を発行)。</p> <p>全国高等学校総合文化祭「2015 滋賀びわこ創総文」開催(器楽・管弦楽、吹奏楽、百人一首)。</p> <p>全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技(男・女)の開催。</p> <p>滋賀県消防操法訓練大会(小型ポンプの部)市消防団河西分団 34 年ぶりの優勝</p> <p>守山市教育行政大綱の策定</p> <p>プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催(阪神タイガース対福岡ソフトバンクホークス)。</p> <p>浮気保育園と浮気団地公園竣工式。</p> <p>守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定。</p> <p>日本体育大学との協定書終結(スポーツ振興についての協定書)。</p> <p>幸津川交流センター「にじいろ」オープン。</p> <p>米国カウアイ郡友好親善使節団が来市。</p> <p>漁船タクシー運行社会実験の開始。</p>

